

## 学校給食会の誕生

終戦直後、川崎市の学校では、栄養不良の子ども、身体虚弱の子どもを前にして、給食をいち早く始めました。給食を開始したものの、給食室はなかったり、あっても貧弱なものでした。給食の食材購入は苦労の連続で、調理する人もいない状況でした。

昭和24年に政府物資を各学校に配送するために川崎市学校給食会が設立されました。川崎市教育委員会が発足する前年のことでした。

任意団体でしたが、川崎市学校給食会は各学校の給食事業の補助団体として給食物資の斡旋等の活動を開始しました。

昭和25年5月には、政府物資の購入等の関係で、神奈川県学校給食会川崎支部と改称しました。やがて各学校の給食事業を緩和するために、給食代金徴収や支払業務等を代行するようになり、昭和27年5月には再び川崎市学校給食会として独立しました。

昭和30年、学校給食法が制定施行され、学校給食の普及徹底を要望する声が高くなりました。このような状況に応えるために、教育委員会、学校給食会、校長会は何度となく協議を重ね、現状の川崎市学校給食会を発展的に解消し、財団法人川崎市学校給食会を設立する準備をしました。

昭和32年12月13日、川中島小学校で川崎市学校給食会臨時総会が開催され、昭和33年2月24日には、橘小学校で最後の準備会が開かれました。この会で財団法人への移管が確認されました。3月10日に川崎小学校で財団法人に向けた協議会が開催され、3月17日には、小田小学校で『財団法人川崎市学校給食会設立発起人会』が開催されました。

昭和33年3月27日に財団法人設立の認可を神奈川県教育委員会に申請し、5月1日に許可を受け、『財団法人川崎市学校給食会』が誕生しました。